



あきのきりんそう
(きく科)

多年草で、茎や葉にあら毛がありざらつく。茎の上部で枝わかれし、花径3cm位の淡紫色の頭花を多数つける。昔から根をせき止め薬として利用されている。

花期 8~10月

草たけ 100~200cm

生育地 栽培

多年草で頭花は黄色、初夏に咲くキリンソウに似ていて秋に咲くことと、中国の伝説に出てくる胸が黄色で、頭に肉厚の角が1本ある動物に似ているのでこの名がついた。

花期 8~10月 草たけ 30~80cm

生育地 野山の草原、丘陵地



▲しおん(きく科)

○紫苑とかき、栽培される。



◀しろよめな
(きく科)

体全体に毛が少なく葉はうすくて少し大型、基部はせまく茎を抱かない。花は白色。

イナカギクとよく似るが、シロヨメナは関東以北のものといわれる。

花期 8~10月

草たけ 60~100cm

生育地 日あたりのよい山野